

2024年3月期 第1四半期
決算説明会

ウシオ電機株式会社
2023年8月7日

Copyright © 2023 Ushio Inc., All Rights Reserved

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

未来は光でおもしろくなる

USHIO



1. 2023年度 1Q実績は **減収減益**も、**計画通り推移**
2. 2023年度 通期業績予想は **変更なし**
3. 2023年度より **報告セグメントを変更**

I. 2023年度 1Q業績概要

II. 2023年度 通期業績予想

III. 参考資料

売上高

392億円

前年同期比 : 4億円減 (▲1.1%)

- 半導体及びFPDの市況悪化により、Industrial Process事業は減収
- 映像関連機器のサプライチェーン・マネジメント(SCM)改革進展、及び部材不足解消と円安効果で、Visual Imaging事業は増収

EBITDA*

39億円

前年同期比 : 23億円減 (▲37.4%)

- 減収による減益
- 将来に向けた戦略投資(R&D・人財投資等)を拡大

親会社株主に帰属する
四半期純利益

17億円

前年同期比 : 20億円減 (▲53.5%)

- 【営業外収支】為替差損益 ▲0億円 (2022年度 1 Q : 10億円)

* EBITDA=営業利益+減価償却費及びのれん償却費

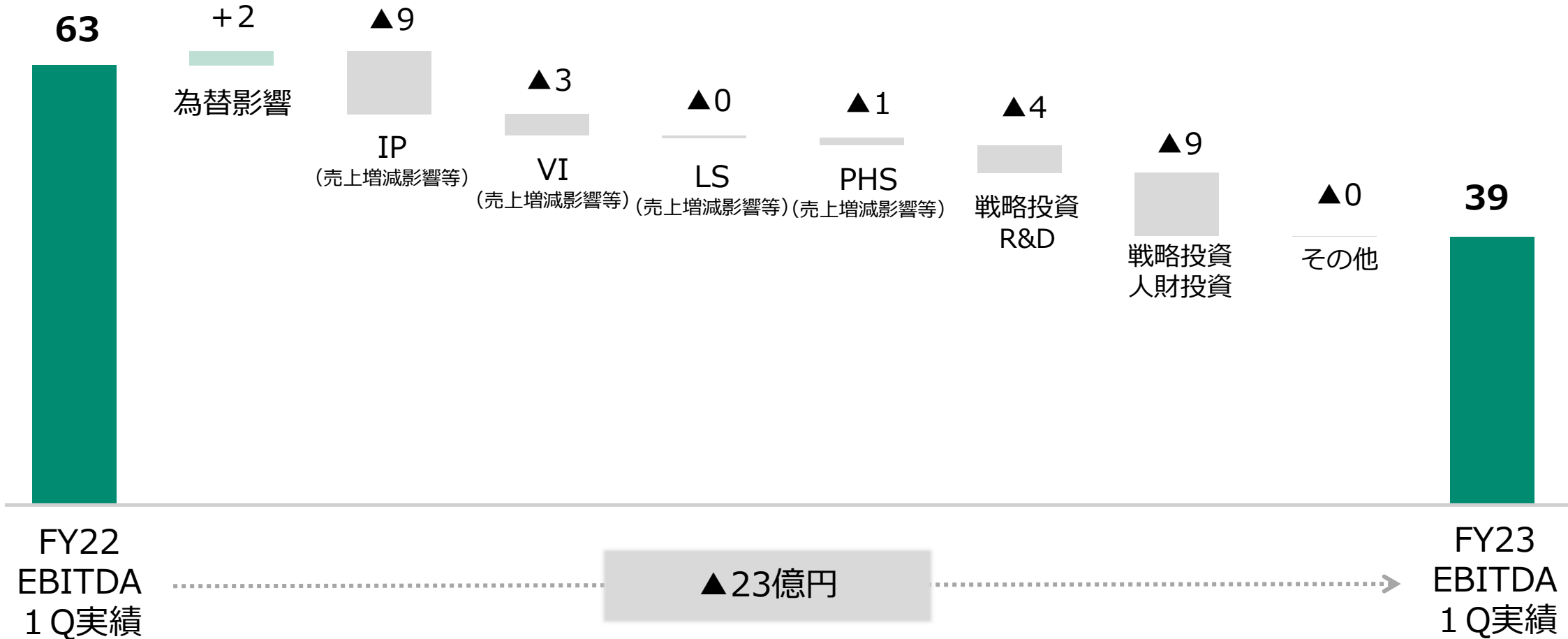
2023年度 1 Q : 財務ハイライト

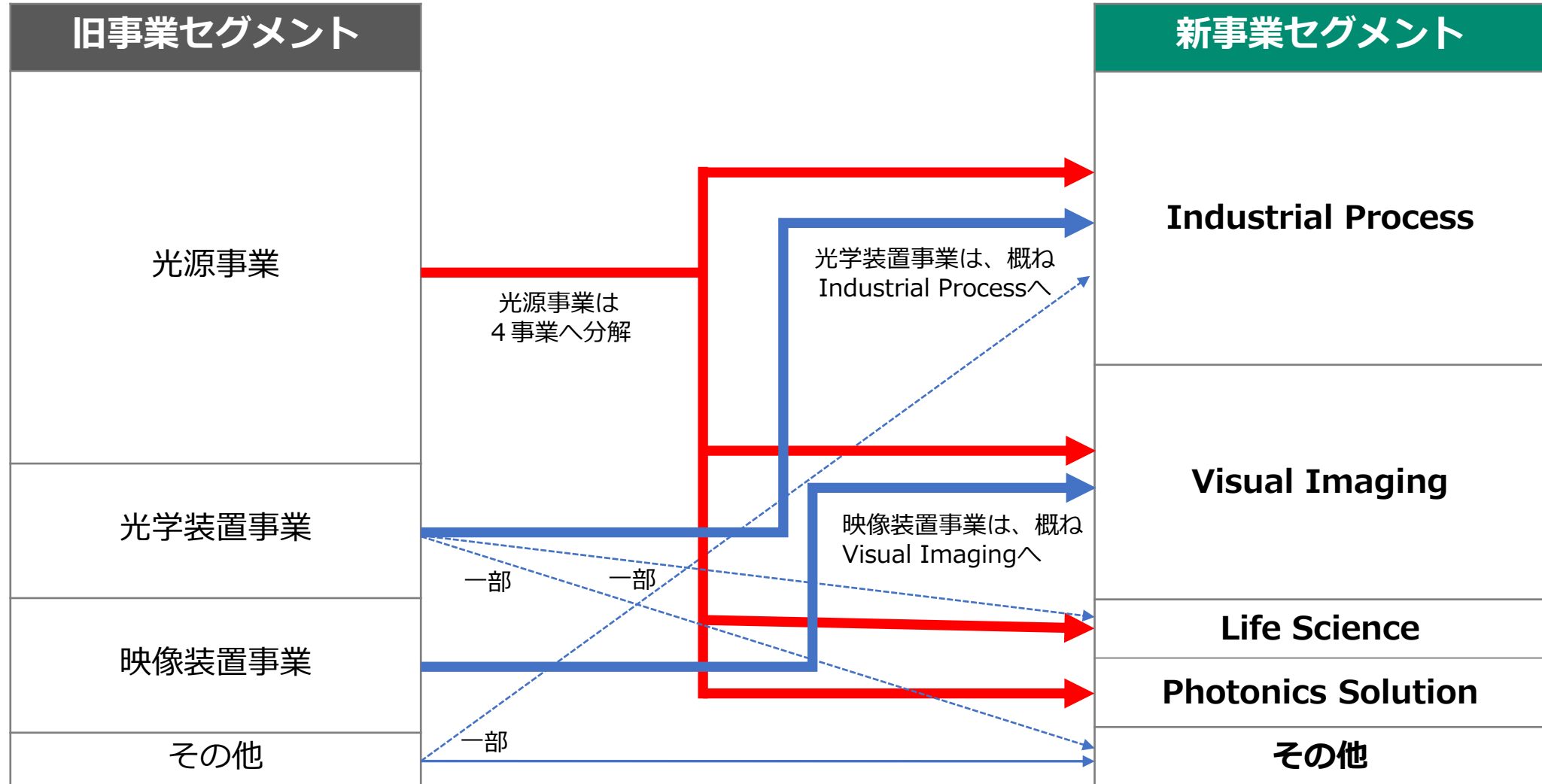
単位：億円	2022年度 1 Q実績	2023年度 1 Q実績	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	397	392	▲4	▲1.1%	
営業利益*1	44	20	▲24	▲54.1%	
営業利益率*1	11.3%	5.2%	▲6.0P	-	
EBITDA*2	63	39	▲23	▲37.4%	
EBITDAマージン	15.9%	10.1%	▲5.8P	-	
経常利益	62	28	▲34	▲55.1%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	38	17	▲20	▲53.5%	
EPS (円)	32.18	15.36	▲16.82	▲52.3%	
為替レート (円)	USD	126	136	+10	-
	EUR	137	148	+11	-

*1 2023年度_1Qで軽微な新規のれん償却を計上 調整後営業利益：20億円

*2 EBITDA=営業利益+減価償却費及びのれん償却費

2023年度 1 Q : EBITDA増減分析 (前年同期比)





サブセグメント別の新旧関連図はスライド25~26を参照ください

2023年度 1 Q : セグメント別業績

	単位：億円	2022年度 1 Q実績	2023年度 1 Q実績	前年同期比	
				増減額	増減率
Industrial Process	売上高	198	174	▲23	▲12.1%
	営業利益 (営業利益率)	39 (19.8%)	22 (12.9%)	▲16 (▲7.0P)	▲42.9%
Visual Imaging	売上高	155	176	+20	+13.2%
	営業利益 (営業利益率)	12 (7.8%)	6 (3.5%)	▲5 (▲4.2P)	▲48.4%
Life Science	売上高	14	13	▲0	▲4.0%
	営業利益 (営業利益率)	▲6 (▲47.5%)	▲4 (▲32.7%)	+2 (+14.7P)	-
Photonics Solution	売上高	23	25	+1	+6.6%
	営業利益 (営業利益率)	1 (6.1%)	▲3 (▲12.9%)	▲4 (▲19.0P)	-
その他	売上高	4	2	▲2	▲42.6%
	営業利益 (営業利益率)	▲1 (▲26.5%)	▲0 (▲22.9%)	+0 (+3.6P)	-
連結合計	売上高	397	392	▲4	▲1.1%
	営業利益 (営業利益率)	44 (11.3%)	20 (5.2%)	▲24 (▲6.0P)	▲54.1%

2023年度 1 Q : Industrial Process事業

単位：億円	2022年度 1 Q実績	2023年度 1 Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	198	174	▲23	▲12.1%
営業利益	39	22	▲16	▲42.9%
営業利益率	19.8%	12.9%	▲7.0P	—
サブセグメント別売上高				
露光用ランプ	40	33	▲7	▲17.8%
OA用ランプ	13	13	+0	+1.1%
光学機器用ランプ	32	27	▲4	▲15.2%
光源事業合計	86	74	▲12	▲13.9%
露光装置	69	54	▲14	▲21.7%
光学装置その他	43	46	+3	+7.1%
光学装置事業合計	112	100	▲11	▲10.6%

■売上高：前年同期比 23億円減収

- 露光装置の販売が、最終需要の減速や今期の検収タイミングの下期偏重による影響で減少
- 液晶パネル向けで巣ごもり需要が一巡及び半導体市況の悪化に伴い露光用ランプの販売が減少
- EUVマスク検査用光源は、前期検収案件のメンテナンス収入が増加

■営業利益：前年同期比 16億円減益

- EUVマスク検査用光源などの将来に向けた戦略投資(R&D等)の拡大
- 露光用ランプや露光装置などの付加価値の高い製品販売が減少したことで利益率が低下

2023年度 1 Q : Visual Imaging事業

単位：億円	2022年度 1 Q実績	2023年度 1 Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	155	176	+20	+13.2%
営業利益	12	6	▲5	▲48.4%
営業利益率	7.8%	3.5%	▲4.2P	—
サブセグメント別売上高				
プロジェクター用ランプ	34	30	▲3	▲10.4%
照明用ランプ	7	7	+0	+5.9%
光源事業合計	42	38	▲3	▲7.5%
シネマ	46	67	+20	+44.7%
一般映像	67	69	+2	+4.3%
映像装置事業合計	113	137	+23	+20.9%

■売上高：前年同期比 20億円増収

- 部材需給緩和とSCM改革の進展、シネマ分野で映画館のプロジェクターの置き換え需要を取り込み、DCP*の販売台数が増加し増収
- 一般映像分野において、イベント等の需要が堅調に推移し、ハイエンド機種の販売割合が増加したことで増収
- 円安効果で増収

■営業利益：前年同期比 5億円減益

- 映像装置関連の部材コスト高騰により減益も、下期に向け改善の見通し
- 戦略投資(人財投資等)の拡大

*DCP：デジタルシネマプロジェクター（以降同様）

2023年度 1 Q : Life Science事業 / Photonics Solution事業

Life Science事業

単位：億円	2022年度 1 Q実績	2023年度 1 Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	14	13	▲0	▲4.0%
営業利益	▲6	▲4	+2	-
営業利益率	▲47.5%	▲32.7%	+14.7P	-

■売上高：前年同期比 0億円減収

- 横ばいで推移

■営業利益：前年同期比 2億円増益

- 環境衛生向け戦略変更による販売投資の集中・抑制で増益

Photonics Solution事業

単位：億円	2022年度 1 Q実績	2023年度 1 Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	23	25	+1	+6.6%
営業利益	1	▲3	▲4	-
営業利益率	6.1%	▲12.9%	▲19.0P	-

■売上高：前年同期比 1億円増収

- 顕微鏡向けレーザーモジュールで研究開発用途の販売が拡大

■営業利益：前年同期比 4億円減益

- R&D投資の戦略的拡大

I. 2023年度 1Q業績概要

II. 2023年度 通期業績予想

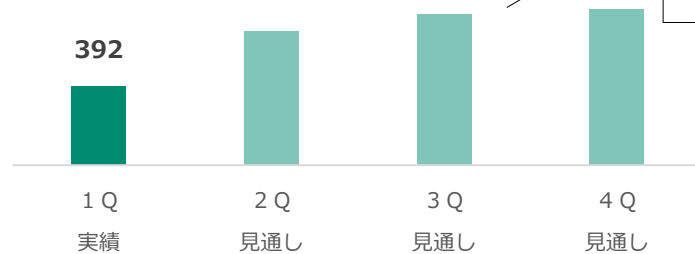
III. 参考資料

2023年度 通期業績予想：サマリー

■ 通期業績予想のポイント

- 前回予想から変更なし（セグメント別も変更なし）
- 全事業で将来に向けた戦略投資(R&D・人財投資)拡大
- 業績の回復は下期を見込む

今期の売上高 四半期推移（イメージ）



(下期)
 ・露光装置の売上が下期偏重
 ・DCPの本格回復は2 Q以降

- 事業別の主な内容は以下の通り（詳細は次ページ以降）

Industrial Process事業（対前期：減収減益見込み）

→ 半導体市場を中心に不透明な景況感が継続

Visual Imaging事業（対前期：増収増益見込み）

→ SCM改革進展、部材不足の緩和と需要の拡大

Life Science事業（対前期：減収増益見込み）

→ 戦略投資の集中・抑制、前期棚卸資産評価損が発生

■ 通期業績予想（係数）

・売上高	：	1,880億円
・EBITDA*1	：	210億円
EBITDAマージン		11.2%
・当期純利益	：	100億円
・ROE*2	：	4.3%
・配当予想	：	年間配当50円
・為替前提	：	USドル 135円

（参考）為替感応度：1円変動による影響額（通期）
 対USD 売上高：約12.0億円、営業利益：約1.3億円

*1 EBITDA=営業利益+減価償却費及びのれん償却費

*2 ROEの目標値は、新規ののれん償却を除いて算出

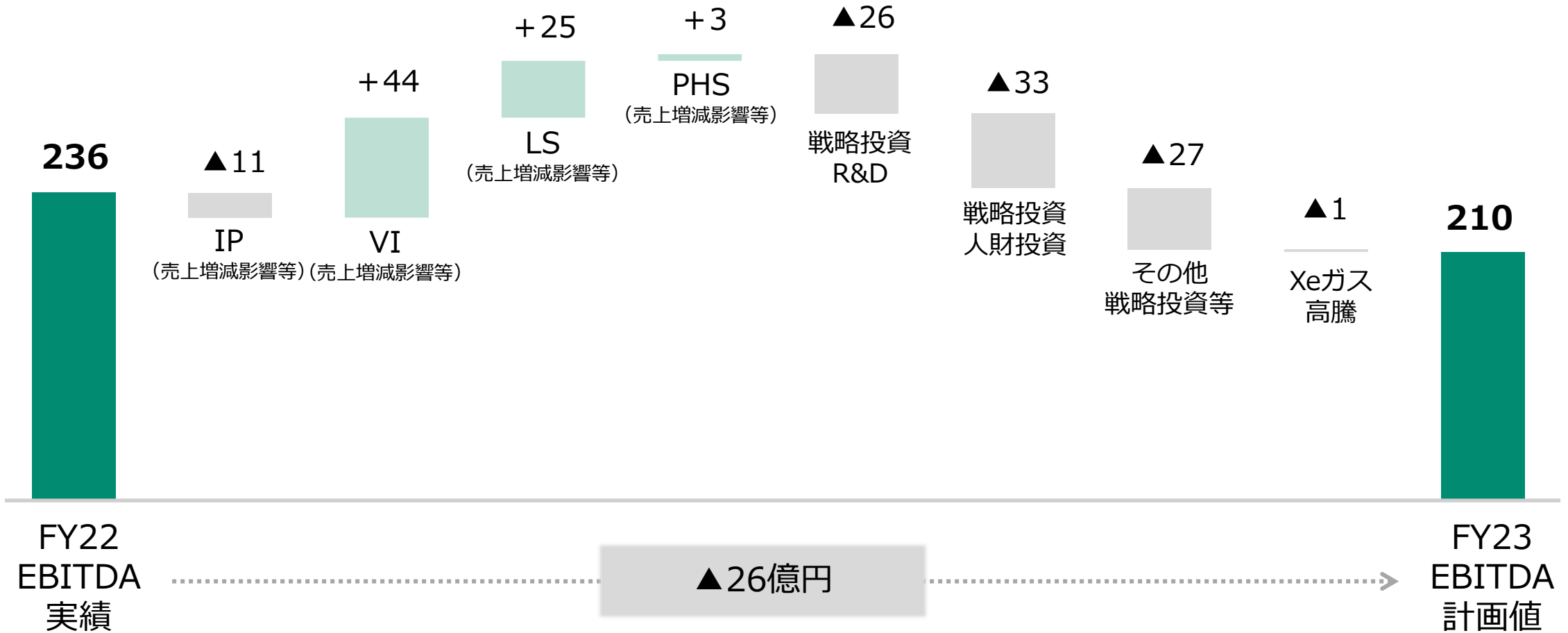
2023年度 通期業績予想：財務ハイライト

単位：億円	2022年度 実績	2023年度 予想	前期比		通期予想に対する 1 Q進捗率
			増減額	増減率	
売上高	1,750	1,880	+129	+7.4%	20.9%
営業利益*1	158	125	▲33	▲21.2%	16.4%
営業利益率*1	9.1%	6.6%	▲2.4P	-	-
EBITDA*2	236	210	▲26	▲11.2%	18.9%
EBITDAマージン	13.5%	11.2%	▲2.3P	-	-
経常利益	201	140	▲61	▲30.5%	20.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	136	100	▲36	▲27.0%	17.9%
EPS (円)	115.69	90.58	▲25.11	▲21.7%	17.0%
ROE*1	5.7%	4.3%	▲1.4P	-	-
年間配当 (円)	50	50	-	-	-
為替レート (円)	USD	135	135	▲0	-
	EUR	141	145	+4	-

*1 2023年度の営業利益、営業利益率及びROEの目標値は、新規ののれん償却を除いて算出

*2 EBITDA=営業利益+減価償却費及びのれん償却費

2023年度 通期業績予想：EBITDA増減分析（前年度比）



2023年度 通期業績予想：セグメント別業績

	単位：億円	2022年度 実績 (参考値*1)	2023年度 予想*2	前期比	
				増減額	増減率
Industrial Process	売上高	881	860	▲21	▲2.4%
	営業利益 営業利益率	172 19.6%	110 12.8%	▲62 ▲6.8P	▲36.4%
Visual Imaging	売上高	677	835	+157	+23.2%
	営業利益 営業利益率	30 4.5%	40 4.8%	+9 +0.3P	+32.2%
Life Science	売上高	46	45	▲1	▲3.3%
	営業利益 営業利益率	▲49 ▲106.0%	▲20 ▲44.4%	+29 +61.6P	-
Photonics Solution	売上高	101	105	+3	+3.7%
	営業利益 営業利益率	▲2 ▲2.9%	▲10 ▲9.5%	▲7 ▲6.6P	-
その他	売上高	43	35	▲8	▲19.4%
	営業利益 営業利益率	7 17.7%	5 14.3%	▲2 ▲3.4P	▲34.8%
連結合計	売上高	1,750	1,880	+129	+7.4%
	営業利益 営業利益率	158 9.1%	125 6.6%	▲33 ▲2.4P	▲21.2%

*1 各セグメントの2022年度の値は比較を目的に当社が作成した参考値

*2 2023年度の営業利益は、新規ののれん償却を除いて算出

2023年度 通期業績予想 : Industrial Process事業

単位：億円	2022年度 実績 (参考値*)	2023年度 予想	前期比		通期予想 に対する 1 Q進捗率
			増減額	増減率	
売上高	881	860	▲21	▲2.4%	20.3%
営業利益	172	110	▲62	▲36.4%	20.4%
営業利益率	19.6%	12.8%	▲6.8P	—	—

* 各セグメントの2022年度の値は比較を目的に当社が作成した参考値

1 Q進捗率に対するコメント

- 今期は、露光装置の売上が下期偏重
- 半導体市況の低迷で、露光装置の期ズレリスクが高まるも、開発及び生産能力増強スケジュールの見直しや販促費の調整により利益計画値は維持する方針

■ 事業環境

全般的に不透明な景況感が継続

- 半導体市場は、最終製品の需要減速で稼働調整が継続し、回復は来期以降を見込む
- 最先端ICパッケージ基板市場は、中長期で需要拡大見込みに変わりはないものの、足元は投資計画後ろ倒しの傾向あり注視
- FPD市場は、巣ごもり需要一巡で稼働が低下し、その後は横ばいを見込む

■ 売上高 : 前期比 21億円減収

- 露光用ランプは、前期の市況好調の反動により減収を見込む
- 露光装置の販売は、今期は調整局面となり前期比で横ばいを見込む
- EUVマスク検査用光源は、稼働高水準が継続しメンテナンス収入は増加も、光源本体の販売減少により減収を見込む

■ 営業利益 : 前期比 62億円減益

- 将来の製品競争力強化に向けた戦略投資(R&D)拡大を見込む
- 露光用ランプの販売減少による利益率の悪化を見込む

2023年度 Industrial Process事業の主要製品

項目	最新の状況	売上高推移
最先端IC パッケージ基板向け 投影露光装置	<ul style="list-style-type: none"> 最先端ICパッケージ基板市場は、中長期で成長も、足元は投資後ろ倒しの傾向あり、今後の市況の変化を注視 生産能力増強は、段階的に進めていくものの、市況の変化により当初計画よりスケジュールは後ろ倒し 次世代露光機へ開発投資継続（高生産性×微細化） 	
ダイレクト イメージング 露光装置	<ul style="list-style-type: none"> IoT、5G等の進展に伴いパッケージ・プリント基板市場の成長は継続も、足元は最終製品の需要減速により調整局面 高解像力モデル(2 μm L/S)販売開始、2023年度より業績貢献 ターゲット：最先端ICパッケージ（Fan-out）、有機パッケージ基板市場等 	
EUVリソグラフィ マスク検査用 EUV光源	<ul style="list-style-type: none"> EUVマスク検査市場は、中長期で着実に成長し、高輝度APMI*の本格採用は、2025年以降となる見込み コスト低減ニーズの高まりにより競争環境が変化 TCO低減及び今後のHi-NA対応強化の戦略投資拡大及び新規顧客獲得への取り組み強化により、採用機会拡大を目指す 	

*APMI : Actinic Patterned Mask Defect Inspection（EUV光を使ったマスク欠陥検査装置）

2023年度 通期業績予想：Visual Imaging事業

単位：億円	2022年度 実績 (参考値*)	2023年度 予想	前期比		通期予想 に対する 1 Q進捗率
			増減額	増減率	
売上高	677	835	+157	+23.2%	21.1%
営業利益	30	40	+9	+32.2%	15.6%
営業利益率	4.5%	4.8%	+0.3P	-	-

* 各セグメントの2022年度の値は比較を目的に当社が作成した参考値

1 Q進捗率に対するコメント

- シネマ及び一般映像ともに市況については想定通り推移
- SCM改革及び部材不足解消は順調に進展、DCP販売は2 Q以降の本格回復を見込む
- 部材不足の解消とともに、映像関連機器の部材コスト高騰の影響も低減し、下期の利益率改善を見込む

■ 事業環境

コロナから回復、部材不足も緩和へ

- シネマ市場は、DCPの置き換え需要が本格化、また中国で稼働回復
- 一般映像市場は、イベントやテーマパークなどの設備投資が堅調

■ 売上高：前期比 157億円増収

- SCM改革、部材不足緩和、映画館のプロジェクター置き換え需要の取り込みで、DCPの販売増加を見込む
- 一般映像機器は、ハイエンド機種の販売強化による増加を見込む
- プロジェクター用ランプは、固体光源化の影響で販売減少を見込む

■ 営業利益：前期比 9億円増益

- 映像関連機器が増収増益も、ランプの利益率悪化(部材費増大)と販売減少による利益率の低下を見込む
- ソリューション体制構築に向けた戦略投資(人財投資等)の拡大を見込む

2023年度 Visual Imaging事業の主要マーケット

項目	最新の状況	プロジェクター売上高推移																				
シネマ市場	<ul style="list-style-type: none"> シネマ市場は中国も回復し、概ねコロナ前の稼働率へ回復 2023年以降のDCP置き換え需要拡大を見込む 部材不足は2023年度後半に向け解消傾向 2023年度のDCPの年間販売台数は前年比で約9割増を見込む 	<p>(USドルベース)</p> <table border="1"> <caption>シネマ市場 プロジェクター売上高推移 (USドルベース)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ランプ</th> <th>RGBレーザー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY20</td> <td>Low</td> <td>Low</td> </tr> <tr> <td>FY21</td> <td>Low</td> <td>Low</td> </tr> <tr> <td>FY22</td> <td>Low</td> <td>Low</td> </tr> <tr> <td>FY23 (見通し)</td> <td>Low</td> <td>High</td> </tr> </tbody> </table>	年度	ランプ	RGBレーザー	FY20	Low	Low	FY21	Low	Low	FY22	Low	Low	FY23 (見通し)	Low	High					
年度	ランプ	RGBレーザー																				
FY20	Low	Low																				
FY21	Low	Low																				
FY22	Low	Low																				
FY23 (見通し)	Low	High																				
一般映像市場	<ul style="list-style-type: none"> イベントやテーマパークなどで複雑な大規模演出用途が拡大 最先端の映像演出を求め、投資は拡大傾向 新技術の取り入れなど付加価値重視の市場へ 2023年度のプロジェクター年間販売台数は前年比で横ばいも、付加価値の高いRGB機種種の割合が増加 	<p>(USドルベース)</p> <table border="1"> <caption>一般映像市場 プロジェクター売上高推移 (USドルベース)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ランプ他</th> <th>レーザー</th> <th>RGBレーザー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY20</td> <td>Low</td> <td>Low</td> <td>Low</td> </tr> <tr> <td>FY21</td> <td>Low</td> <td>Low</td> <td>Low</td> </tr> <tr> <td>FY22</td> <td>Low</td> <td>Low</td> <td>Low</td> </tr> <tr> <td>FY23 (見通し)</td> <td>Low</td> <td>Low</td> <td>High</td> </tr> </tbody> </table>	年度	ランプ他	レーザー	RGBレーザー	FY20	Low	Low	Low	FY21	Low	Low	Low	FY22	Low	Low	Low	FY23 (見通し)	Low	Low	High
年度	ランプ他	レーザー	RGBレーザー																			
FY20	Low	Low	Low																			
FY21	Low	Low	Low																			
FY22	Low	Low	Low																			
FY23 (見通し)	Low	Low	High																			

2023年度 通期業績予想 : Life Science事業 / Photonics Solution事業

Life Science事業

単位：億円	2022年度 実績 (参考値*)	2023年度 予想	前期比		通期予想 に対する 1 Q進捗率
			増減額	増減率	
売上高	46	45	▲1	▲3.3%	30.8%
営業利益	▲49	▲20	+29	-	22.7%
営業利益率	▲106.0%	▲44.4%	+61.6P	-	-

Photonics Solution事業

単位：億円	2022年度 実績 (参考値*)	2023年度 予想	前期比		通期予想 に対する 1 Q進捗率
			増減額	増減率	
売上高	101	105	+3	+3.7%	23.9%
営業利益	▲2	▲10	▲7	-	32.4%
営業利益率	▲2.9%	▲9.5%	▲6.6P	-	-

1 Q進捗率に対するコメント

- 戦略投資、業績ともに計画通りに進捗

■ 事業環境

医療業界で光を使った機器需要が緩やかに伸長

■ 売上高：前期比 1億円減収

- 紫外線治療機器が販売増加も、環境衛生向け戦略変更により、微減を見込む

■ 営業利益：前期比 29億円増益

- 環境衛生向け販売投資の集中・抑制による増益と、前期の棚卸資産評価損が発生しないことによる増益を見込む

1 Q進捗率に対するコメント

- R&D投資の戦略的拡大、業績ともに計画通りに推移

■ 事業環境

光源の固体光源化及びエネルギー効率向上の動きにより堅調に推移

■ 売上高：前期比 3億円増収

- メディカルヘルスや産業用センサー市場などでの販売増加を見込む

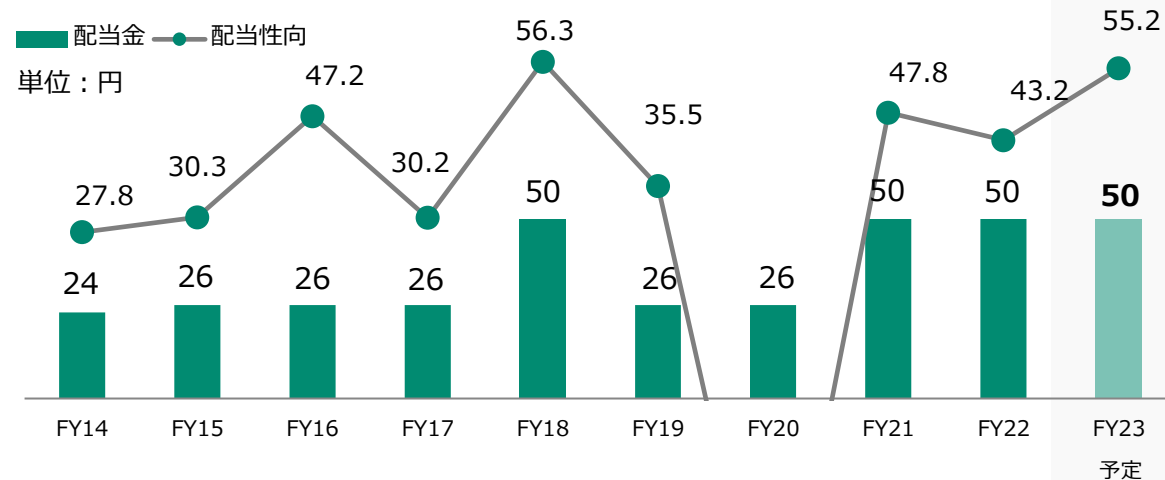
■ 営業利益：前期比 7億円減益

- フォトニクスアプリケーション向けR&D投資拡大を計画

1株当たり
期末配当額

【配当方針】

安定的な配当

2023年度は **50円/年** を継続

自社株買い

【自己株式取得の方針】

機動的に実施

なお、保有する自己株式は、発行済株式総数の5%を上限とし、発行済株式総数の5%を上回る部分については毎年消却を実施

2023年5月11日リリース

取得期間：2023年5月29日～2024年5月10日

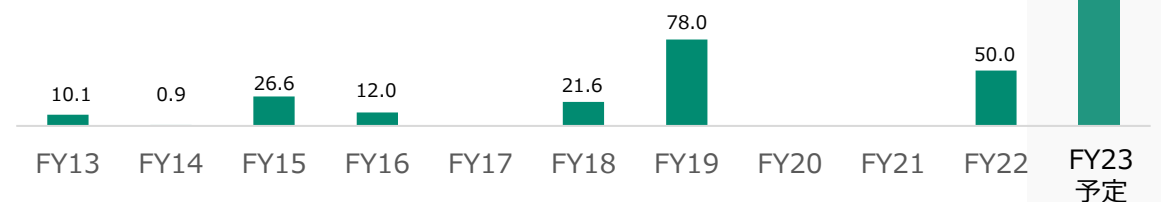
買付予定金額： **300億円 (上限)**買付予定株数： **2,000万株 (上限)**

自社株式取得は順調に進展

2023年7月31日時点の買い付け状況 (累計)

買付金額 **70.8億円**、買付株数 **370.6万株**

単位：億円

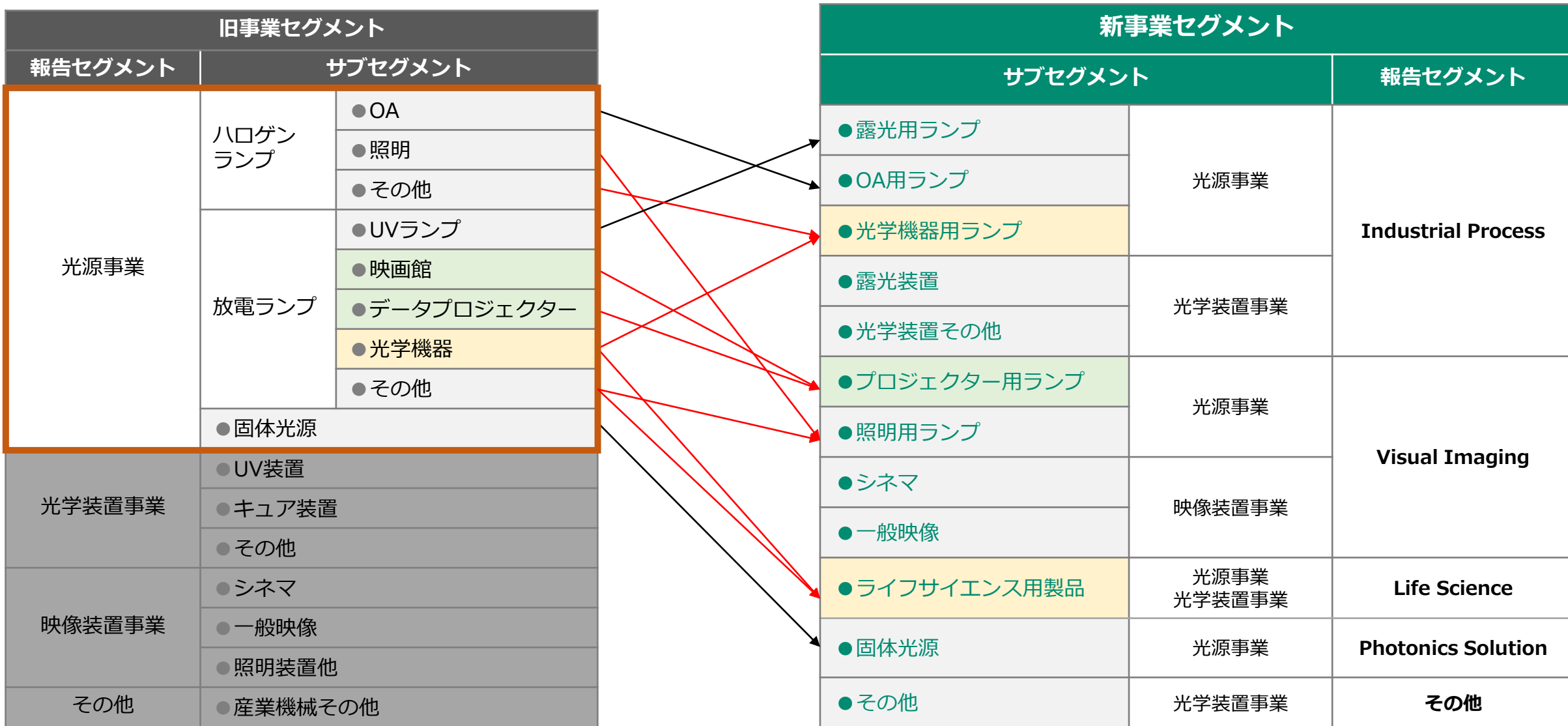


-
- I. 2023年度 1Q業績概要
 - II. 2023年度 通期業績予想
 - III. 参考資料

(新) 事業セグメントと主な製品

事業セグメント	主要事業・製品	製品例					
Industrial Process	<p>光源： UVランプ、OA用ランプ、光学機器用ランプ他</p> <p>装置： UV装置、キュア装置、EUVマスク検査用光源、保守メンテナンスサービス他</p>	 UVランプ	 OA用ランプ	 投影露光装置	 ダイレクト イメージング露光装置	 (提供：TNO) EUVマスク検査用 EUV光源	
Visual Imaging	<p>光源： シネマ用ランプ、データプロジェクター用ランプ他</p> <p>装置： デジタルシネマプロジェクター、一般映像向けプロジェクター、映像関連機器、保守メンテナンスサービス他</p>	 シネマ用 ランプ	 データ プロジェクター用 ランプ	 デジタルシネマ プロジェクター	 一般映像用 プロジェクター	 ディスプレイ LEDウォール	 映像周辺機器
Life Science	<p>光源：「Care222[®]」搭載製品他</p> <p>装置：紫外線治療機器他</p>	 抗ウイルス・除菌技術 「Care222 [®] 」搭載製品	 紫外線治療器 「セラビームシリーズ」	 紫外線治療器 「セラビームシリーズ」			
Photonics Solution	<p>光源：固体光源</p>	 固体光源 (LD/LED)	 レーザーモジュール				

参考：セグメント区分変更（旧光源事業 → 新事業セグメント）



→ 1対1で紐づけできるもの

→ 分解又は集約が必要なもの

参考：セグメント区分変更（旧光学装置・映像装置・その他事業 → 新事業セグメント）

旧事業セグメント			新事業セグメント				
報告セグメント	サブセグメント		サブセグメント		報告セグメント		
光源事業	ハロゲンランプ	●OA	●露光用ランプ	光源事業	Industrial Process		
		●照明					
		●その他					
	放電ランプ	●UVランプ				●光学機器用ランプ	光学装置事業
		●映画館					
		●データプロジェクター					
		●光学機器					
		●その他					
		●固体光源					
	光学装置事業	●UV装置				●光学装置その他	光源事業
●キュア装置							
●その他							
映像装置事業	●シネマ	●シネマ	映像装置事業				
	●一般映像						
	●照明装置他						
その他	●産業機械その他	●ライフサイエンス用製品	光源事業 光学装置事業	Life Science			
		●固体光源	光源事業	Photonics Solution			
		●その他	光学装置事業	その他			

→ 1対1で紐づけできるもの

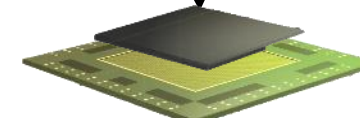
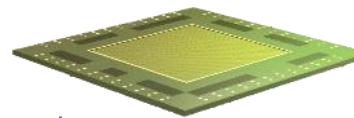
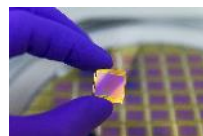
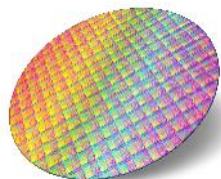
→ 分解又は集約が必要なもの

前工程

後工程

実装工程

Highエンド



マスク検査用EUV光源



中期的に保守メンテナンス拡大による
高収益モデル

ウエハ用露光装置



MEMS, Power半導体, RF device
向けシェア50%

顧客生産性で競合優位性をもつ

半導体リソグラフィ用UVランプ



半導体 i 線・g 線領域のリソグラフィで使用
安定したリプレースメント需要

世界シェア
75%

ステッパ (投影露光装置)



微細パッケージ基板向け露光機

FC-BGA向け量産露光機パイオニア



ダイレクトイメージング露光装置

グループ会社アドテックエンジニアリングにて

Mid-Highエンド基板向け高生産性露光機量産中

世界シェア
90%*

* 最先端ICパッケージ基板市場
(ステッパ露光機市場)

世界シェア
50%*

* ICパッケージ基板市場
(DI露光機市場)

USHIO

次世代半導体量産用EUV光源

開発/生産/販売



(提供：TNO)



光源販売
メンテナンス

マスク検査装置メーカー
研究開発機関

半導体デバイスメーカー等

EUVリソグラフィの技術開発進展による次世代半導体の量産化ニーズ

検査、開発用光源のニーズ増大
ウシオのEUV光源が貢献

マスク検査用EUV光源需要増加
メンテナンス機会の増加

ウシオのEUV光源開発の歴史

- 2000年 EUV光源開発開始
- 2001年 EUVA*設立、参画
- 2013年 リソグラフィ用途から撤退
- 2016年 オランダ研究機関TNOへ EUV光源納入
- 2018年 検査用（評価用）初号機納入
- 2019年 量産ライン用初号機納入、検収

■ウシオの強み

半導体業界での長いビジネス経験

+

長年積み重ねたEUV技術
(コンパクト/高輝度/高出力)

*極端紫外線露光システム開発機構

USHIO

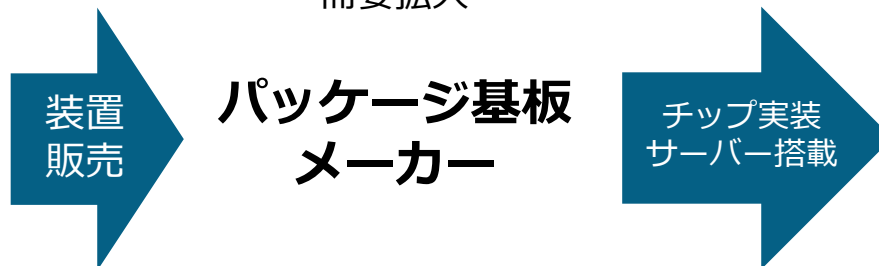
最先端ICパッケージ基板向け
分割投影露光装置 (UX-5)
製造、販売

■ 世界シェア : 90%*

* 最先端ICパッケージ基板市場
(ステッパ露光機市場)



最先端・次世代パッケージ
需要拡大

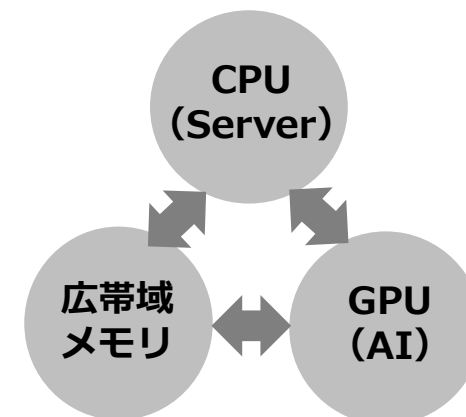


IoT進展に伴う大容量かつ高速データ処理用
データセンター向けサーバーの需要増加

データセンター市場 : 年率20%以上成長 (自社調べ)
⇒ 次世代パッケージ基板の採用拡大

■ ウシオの強み

1. 大面積一括投影露光
→ 高生産性、低CoO
2. マスクワーク非接触
→ 歩留まり向上
3. 広い焦点深度
→ プロセスマージン・基板反り対応
4. 高い解像力・重ね合わせ精度
→ 配線ピッチ微細化、プロセスマージン





ダイレクトイメージング露光装置

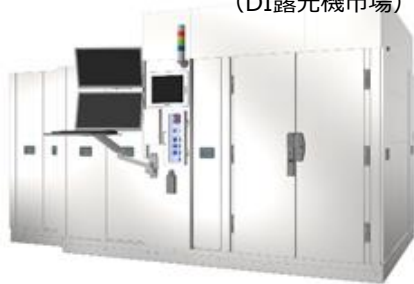
開発・製造・販売

微細化対応

高生産性

■世界シェア：50%*

*ICパッケージ基板市場
(DI露光機市場)



アプリケーションの革新に対応した
プリント配線板需要の増加



プリント配線板 パッケージ基板 メーカー

高密度化

多層化

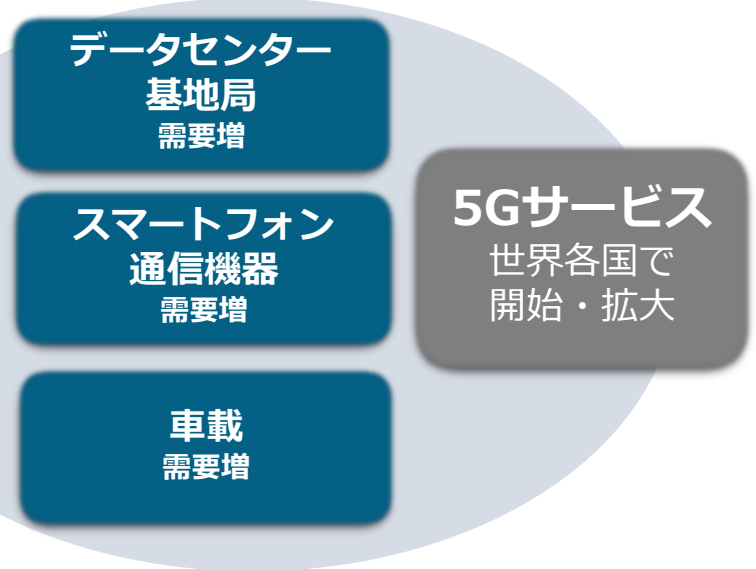
■ウシオの強み

高解像力(ハイエンド)
世界最速の高生産性(ミドルエンド)
+
顧客本位の保守サポート能力



消費電力対応
小型化対応

5G導入による
各種アプリケーションの革新と需要の増加



■最先端半導体のFOパッケージ、有機パッケージ基板（先端BGA）などに向けた直描式露光装置を開発

リリース全文（2021年7月12日発表）：

<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1002/2021-2021/500818.html>



四半期推移《損益》

単位：億円		2022年度				2023年度	前年同期比	
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	増減額	増減率
売上高		397	482	404	466	392	▲4	▲1.1%
営業利益		44	56	34	23	20	▲24	▲54.1%
営業利益率		11.3%	11.7%	8.5%	5.0%	5.2%	▲6.0P	-
EBITDA*		63	76	53	43	39	▲23	▲37.4%
EBITDAマージン		15.9%	15.8%	13.2%	9.4%	10.1%	▲5.8P	-
経常利益		62	73	43	21	28	▲34	▲55.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		38	56	25	16	17	▲20	▲53.5%
EPS（円）		32.18	47.87	21.80	13.78	15.36	▲16.82	▲52.3%
為替レート（円）	USD	126	137	144	133	136	+10	-
	EUR	137	140	144	143	148	+11	-

* EBITDA=営業利益+減価償却費及びのれん償却費

四半期推移《セグメント別損益》

		2022年度		2023年度		前年同期比	
		1 Q		1 Q		増減額	増減率
Industrial Process	売上高	198	174	▲23	▲12.1%		
	営業利益	39	22	▲16	▲42.9%		
	営業利益率	19.8%	12.9%	▲7.0P	-		
Visual Imaging	売上高	155	176	+20	+13.2%		
	営業利益	12	6	▲5	▲48.4%		
	営業利益率	7.8%	3.5%	▲4.2P	-		
Life Science	売上高	14	13	▲0	▲4.0%		
	営業利益	▲6	▲4	+2	-		
	営業利益率	▲47.5%	▲32.7%	+14.7P	-		
Photonics Solution	売上高	23	25	+1	+6.6%		
	営業利益	1	▲3	▲4	-		
	営業利益率	6.1%	▲12.9%	▲19.0P	-		
その他	売上高	4	2	▲2	▲42.6%		
	営業利益	▲1	▲0	+0	-		
	営業利益率	▲26.5%	▲22.9%	+3.6P	-		
連結合計	売上高	397	392	▲4	▲1.1%		
	営業利益	44	20	▲24	▲54.1%		
	営業利益率	11.3%	5.2%	▲6.0P	-		

2023～25年度の3年間 : 自社株投資と成長投資への大規模な配分により資本効率の改善を目指す

キャッシュ創出

- 中計期間の営業CF : 3カ年累計で600億円
- 資産売却 : 150～200億円
- 有利子負債活用 : 400+a億円 資本コストの引き下げ

キャピタル・アロケーション

- 戦略投資 : 400+a億円 M&A含む成長投資 : 400+a億円
- 財務基盤 自己資本比率 : 60%以上を維持
- 自社株投資 + 配当 : 3カ年累計で700～900億円程度
 - ・安定的な配当
 - ・自社株投資は、資本効率や業績、資金状況を勘案し、積極的に実施（初年度300億円の自己株取得枠を決議）

ROE 8%以上 (FY2025目標) を目指す

<Cash-in>

有利子負債
400+a億円

資産売却
150～200億円

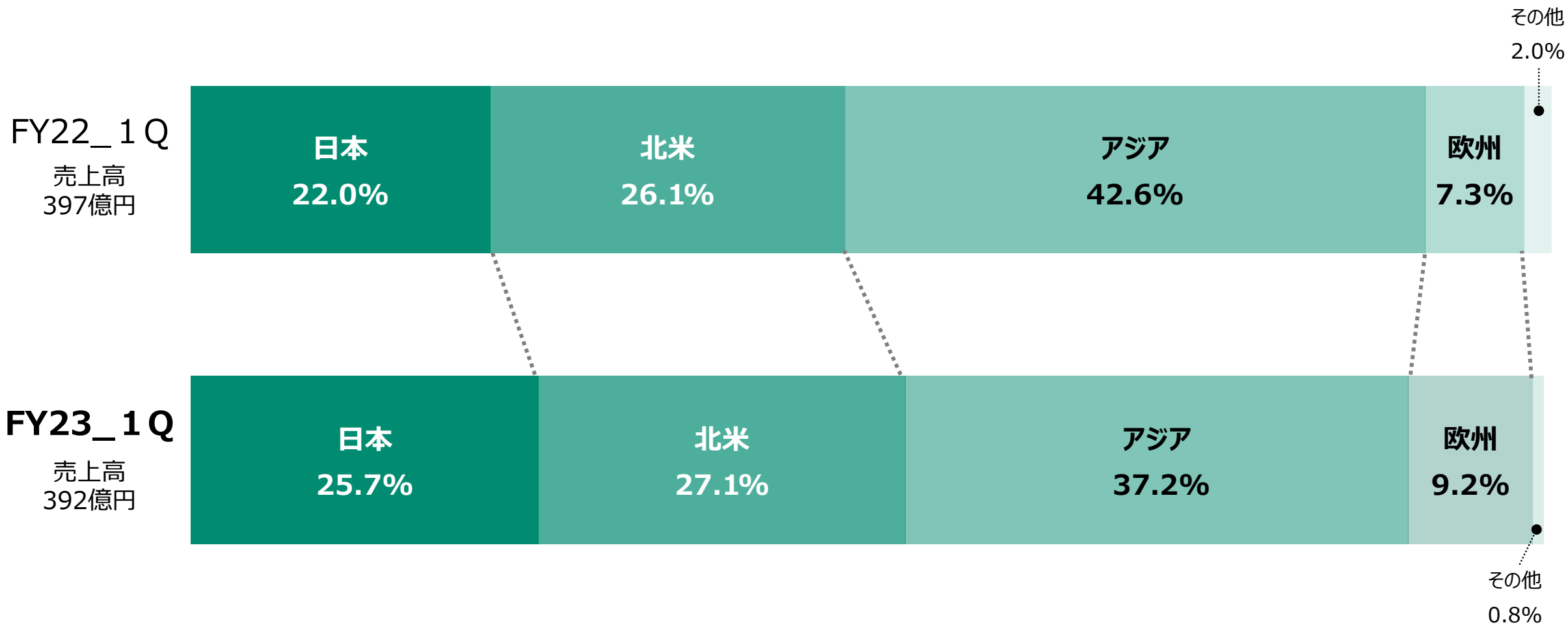
中計期間の営業CF
600億円

<Cash-out>

戦略投資
400+a億円

自社株投資
+
配当
700～900億円

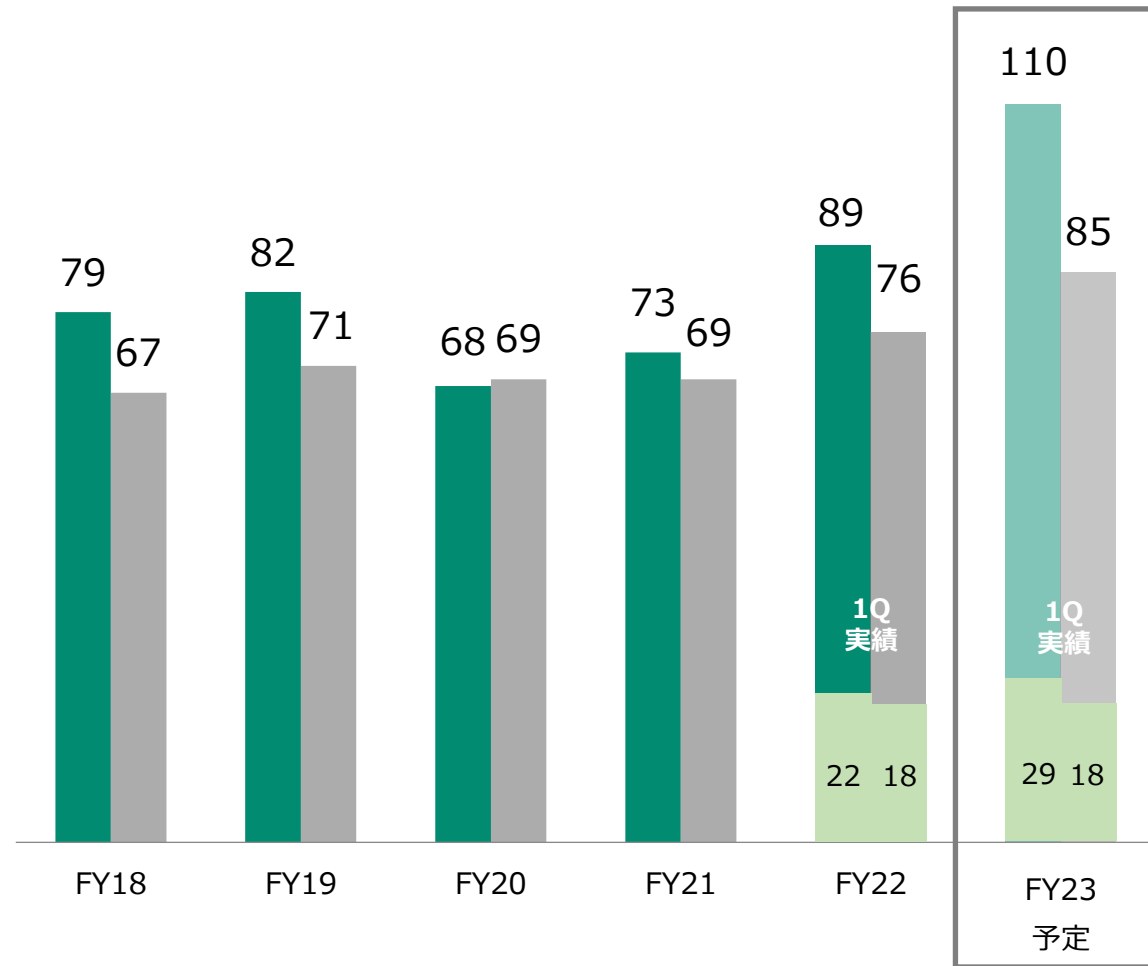
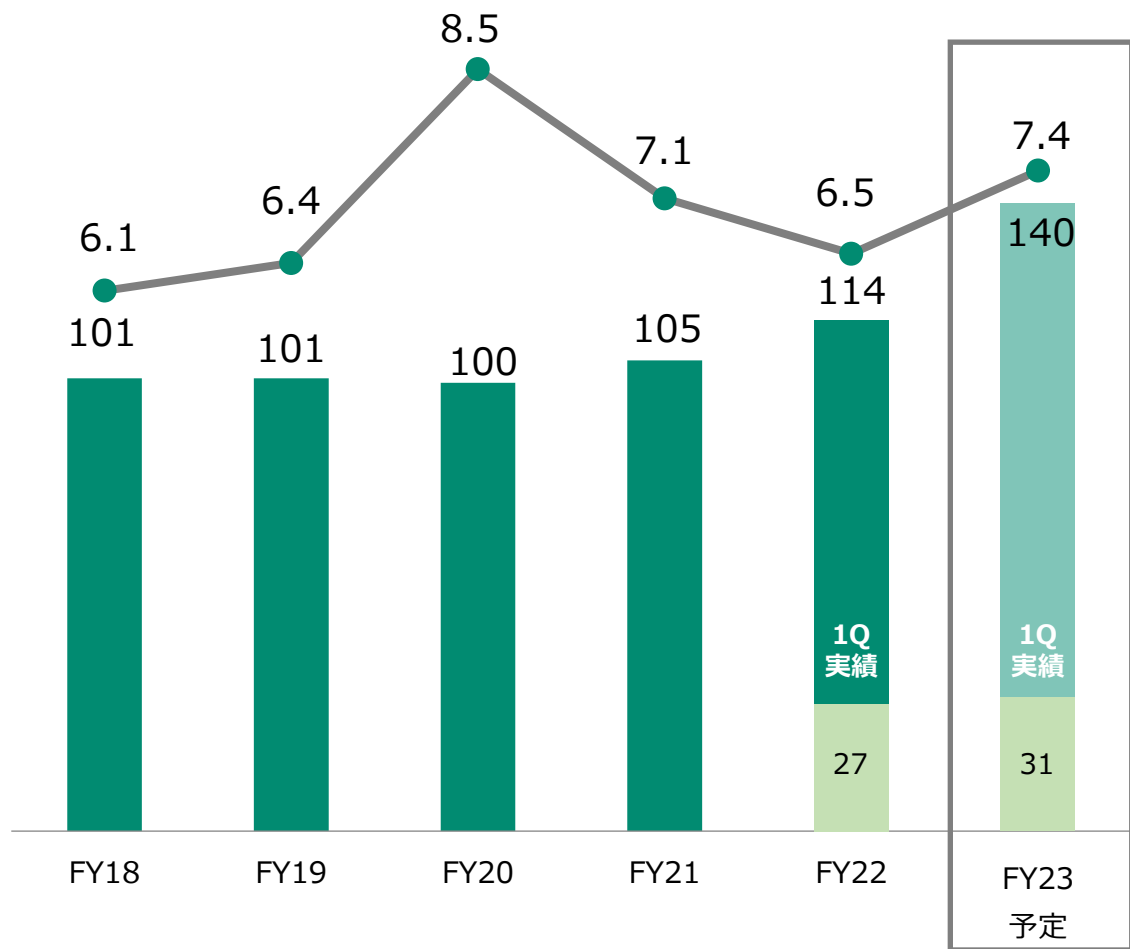
地域別売上高比率



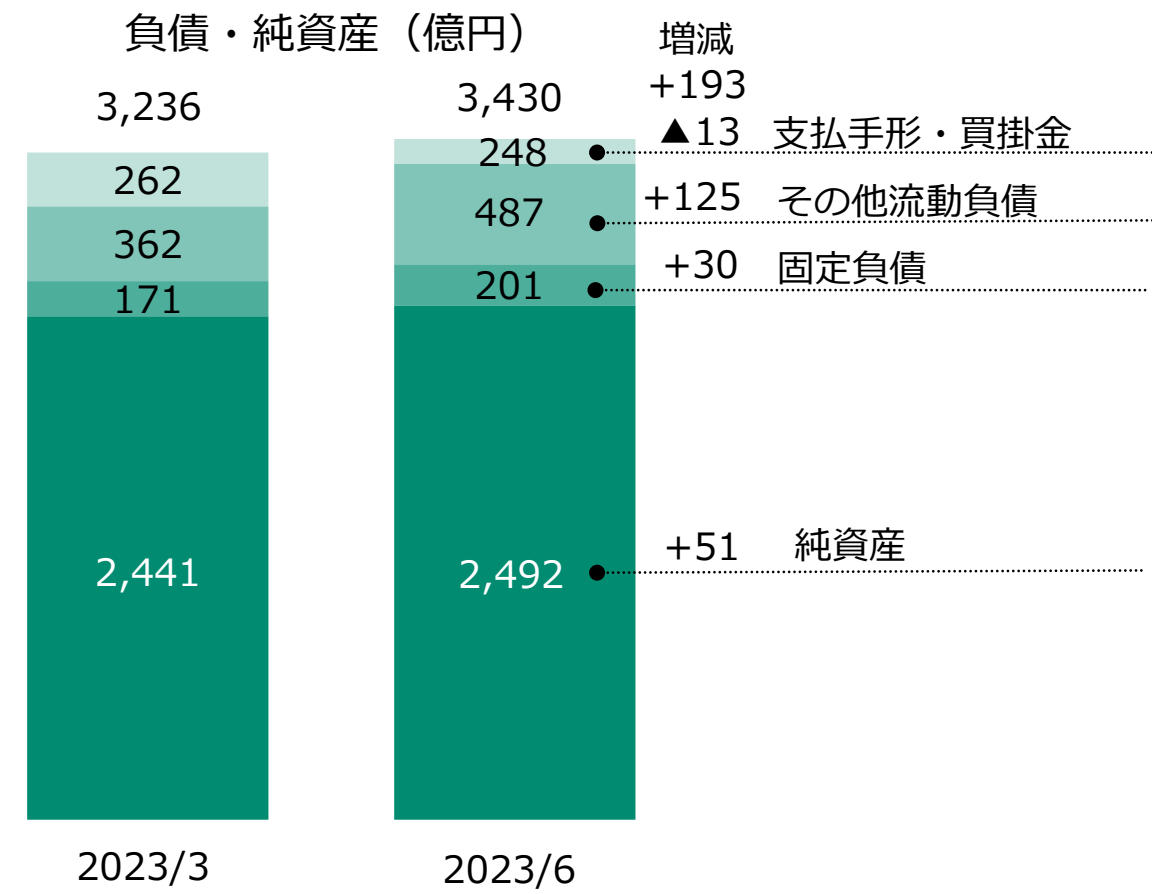
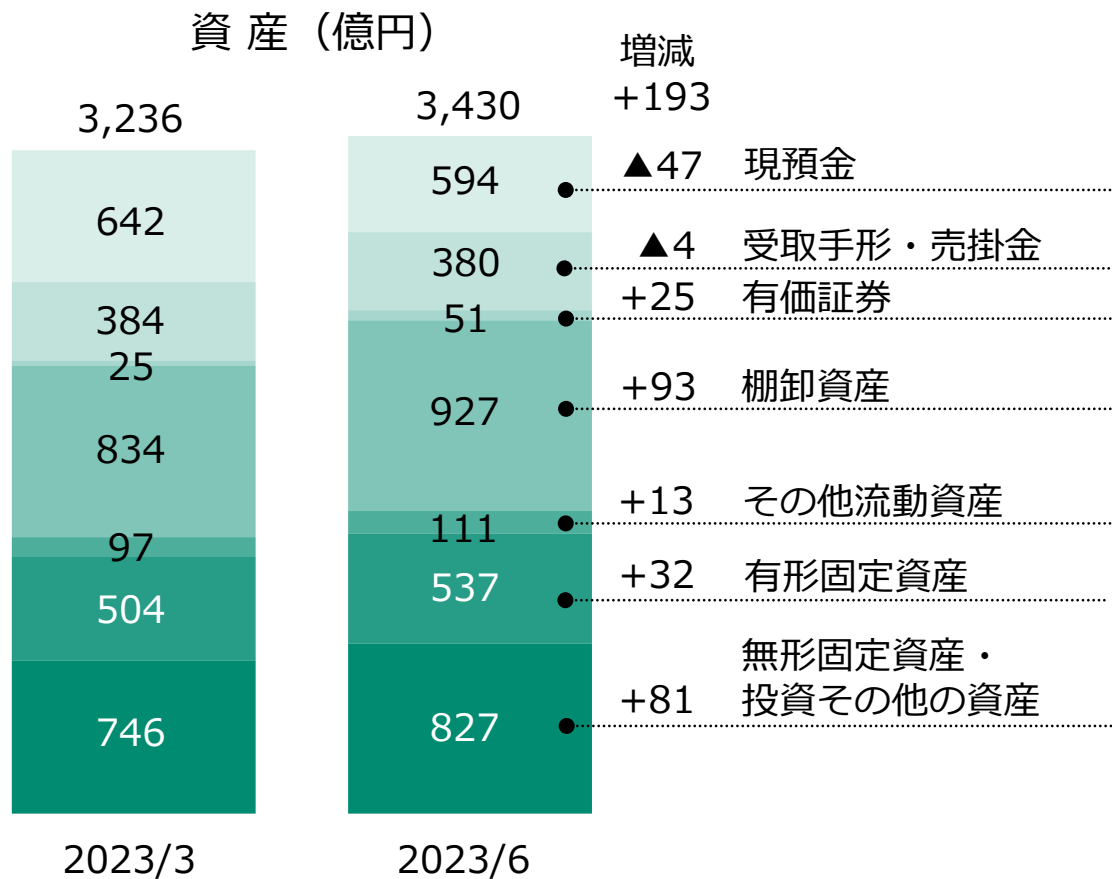
研究開発費／設備投資額・減価償却費

■ 研究開発費 (億円)
 — 売上高研究開発費率(%)

■ 設備投資額 (億円)
 ■ 減価償却費 (億円)



貸借対照表

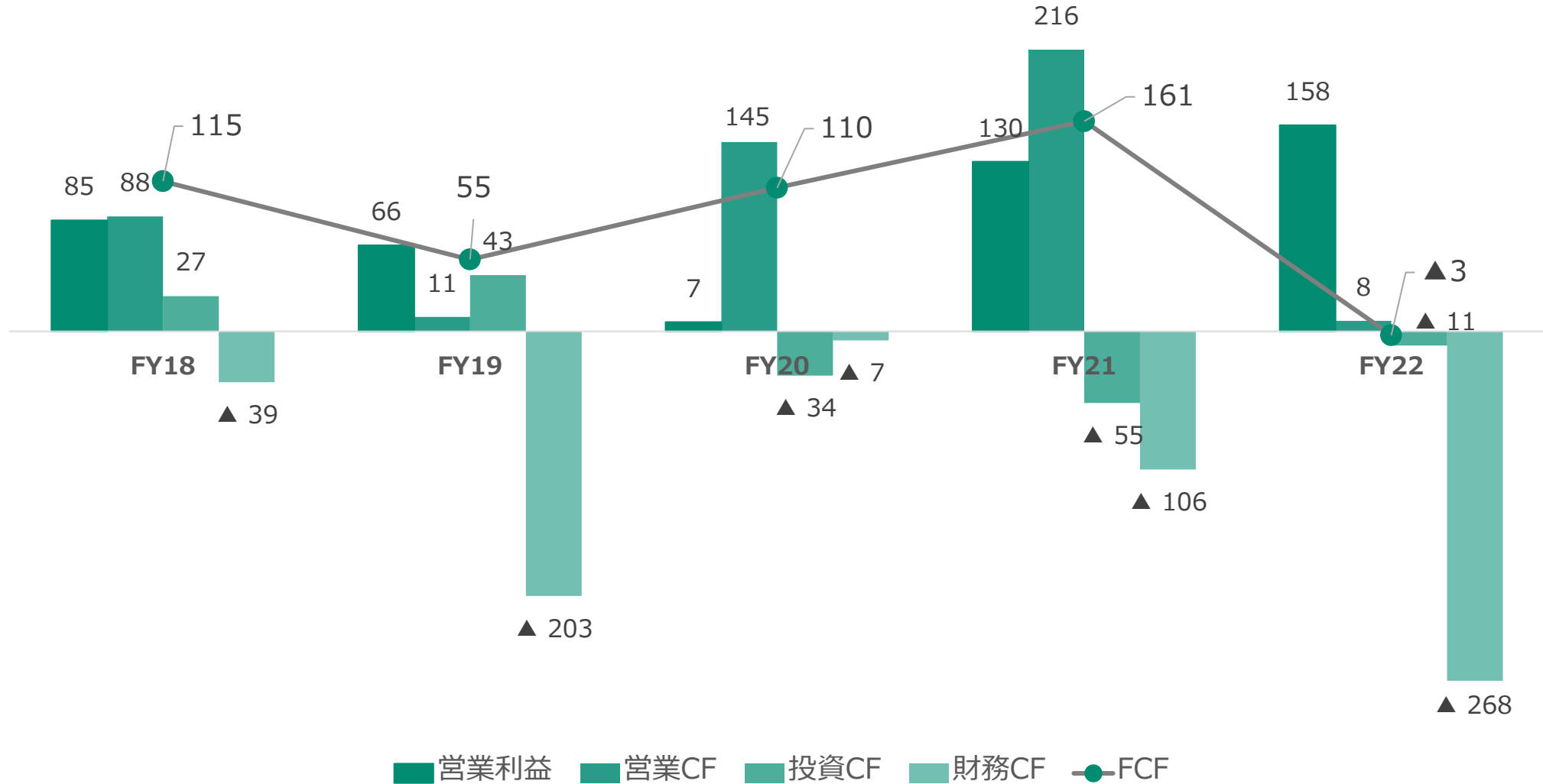


回転月数 (ヶ月)	2023/3	2023/6
売上債権	2.5	2.9
たな卸資産	5.1	6.7
CCC	6.0	7.7

自己資本比率 (%)	2023/3	2023/6
	75.4	72.7

キャッシュフロー推移

単位：億円



AI	Artificial Intelligence	人工知能
APMI	Actinic Patterned Mask Defect Inspection	EUV光を使ったマスク欠陥検査装置
BGA	Ball Grid Array	半田ボールを格子状に並べた電極形状をもったパッケージ基板
CoO	Cost of Ownership	導入コストやメンテナンスコストなどを含めた、使用者（オーナー）が負担するコスト
CPU	Central Processing Unit	中央演算処理装置
DCP	Digital Cinema Projector	デジタル・シネマ・プロジェクター
DI	Direct Imaging	マスクを使わず、直接描画する露光方式
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
GPU	Graphic Processing Unit	画像を表示するために必要な計算を行う半導体装置
IoT	Internet of Things	モノがインターネット経由で通信すること
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
TNO	The Netherlands Organization of Applied Scientific Research	オランダ応用科学研究機構
UV	Ultraviolet	紫外線
5G	5 th Generation	第5世代移動通信システム

IRサイトリニューアル及びIRメール配信サービス開始のお知らせ

- 当社オフィシャルWebサイト「投資家情報」をリニューアルしました。よりアクセスしやすく、ウシオの現在～未来を知っていただけるような構成に整理しました。
- 法定開示や適時開示、その他IR情報等、ウシオのIRニュースを開示後適時にメールでお届けできるように**IRメール配信サービス**を導入しました。IRサイトからご登録いただきますようお願いいたします。

Renewal Point

01

個人投資家の皆さま向けコーナーを新設

シンプルでわかりやすさを意識した構成にすることで、利便性の向上を図りました。



Renewal Point

02

コンテンツの新設

当社のビジネスをより身近に感じていただけるコンテンツを拡充しました。



Renewal Point

03

IRメール配信登録機能を追加

個人投資家の皆さまにもIRニュースをいち早くお知らせできるよう機能を追加しました。



IRメール配信登録は
こちらから



<免責事項>

本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
ウシオ電機(株)
コーポレートコミュニケーション部 IR課
(03) 5657-1007
ir@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>